

日本ヒトプロテオーム機構(JHUPO)理事会

議 事 録

日 時 平成 19 年 7 月 30 日(月) 12 時 20 分 ~ 14 時 20 分
場 所 日本科学未来館 7 階交流サロン

出席者 (敬称略順不同) 17 名

会長 谷口 直之 (大阪大学微生物病研究所)
副会長 中村 和行 (山口大学大学院)
理事 荒木 令江 (熊本大学大学院)
磯辺 俊明 (首都大学東京大学院)
大國 壽士 (株式会社メデカジャパン・ラボラトリー)
小林 章一 (株式会社島津製作所)
曾根 純一 (日本電気株式会社)
高尾 敏文 (大阪大学蛋白質研究所)
戸田 年総 (東京都老人総合研究所)
中西 洋志 (独立行政法人産業技術総合研究所)
西村 俊秀 (株式会社バイオシステクノロジーズ)
根本 直 (独立行政法人産業技術総合研究所)
平野 久 (横浜市立大学大学院)
前田 忠計 (北里大学)
真鍋 敬 (愛媛大学)
山本 格 (新潟大学大学院)
吉里 勝利 (広島大学大学院)

事務局 松本 明郎 (大阪大学微生物病研究所)

議長委任 (敬称略順不同) 2 名

高山 光男 (横浜市立大学)
森川 實 (ジェノダイブファーマ株式会社)

欠席者 (敬称略順不同) 3 名

谷口 壽章 (徳島大学)
中村 範夫 (持田製薬株式会社)
三嶋 弘 (西日本旅客鉄道株式会社広島鉄道病院)

総理事数 22 名中、参加 17 名、委任状 2 名により理事会は成立した。
次のとおり議事進行が行われた。

議事内容

報告事項

報告1:次田先生のご逝去・黙禱

- ・ 次田 皓先生のご逝去を悼み、全員で黙禱をささげた。
- ・ 谷口会長より HUPO ホームページに追悼文が掲載されていること説明があった。
- ・ 曾根理事より、次田先生は肺気腫を患っておられたこと、急なことでご家族の意向もあり十分通知できなかつたことなど説明があった。
- ・ 来年の第6回大会においてメモリアルレクチャーを行い、次田先生と関連の深い方にお話いただくセッションを設けるよう検討することとなった。

報告2:平成18年度会計報告

- ・ 事務局より、平成18年度会計について、収入・収支の内訳、平成19年度への繰越金額を報告し、監事2名による承認をいただいたこと報告し、承認された。

報告3:平成19年度事務委託について

- ・ 平成19年度の事務委託について、昨年度に引き続き株式会社コンベンションリンケージに委託すること、同社の見積りを確認いただき承認された。

報告4:HUPO 関連の報告

HUPO 理事会および Nomination Committee、年会の開催地につき、谷口会長より報告された。

- ・ 今年から HUPO 理事の選挙は、HUPO 会員は誰でも推薦できるようになった。
- ・ 現在は、アジア・オセアニアで3名の理事が改選される予定であるが、実質的に中国と韓国のポジションとなっており、日本が入れるかどうかは厳しい状況である。
- ・ 前回の理事会では、Local の HUPO で活躍している会員が理事になるのがいいという意見もあり。
- ・ HUPO 年会の開催地は、2007年10月6日～10日ソウル、2008年8月アムステルダム、2009年トロント、2010年シドニー開催まで決定している。この次の次あたりがアジア開催の可能性もあるかも知れない。

HGPI について谷口会長より報告された。

- ・ 谷口会長の第1期の任期がほぼ終了。
- ・ これまで、N-glycan 測定の標準化を行うため全世界22施設による共同研究を行なった。現在、O-glycan の標準化を目指して、全世界32施設による共同研究を開始している。
- ・ 今年の9月6日にリューベックで HGPI stirring committee を行う予定である。
- ・ 来年1月4日から10日まで Barbados にて Initiative chair 会議が開催される。

山本理事より以下のとおり報告された。

- ・ 腎・尿蛋白の解析の標準化ガイドラインを作成している。これには40ヶ所の研究所・施設が参加しており、腎臓組織・尿サンプルのデータベース構築を目指している。

- ・ 現在、糸球体タンパク質のデータベース作成を行なっている。
- ・ 韓国で開催される HUPO 年会において標準化会議を開催するとともに、10月末にはサンフランシスコにて work shop を開催する予定である。

AOHUPO について、中村副会長より報告された。

- ・ AOHUPO は昨年 12 月にシンガポールで第 3 回大会を開催。1 年毎に開催され次回 は 2008 年 6 月に開催予定である。
- ・ Membrane Proteomics Initiative を設定することが計画されている。8 月 23 日 ~ 25 日の中国 HUPO 年会のサテライトシンポジウムとして香港で Membrane Proteomics Initiative の現状報告を予定している。最終的にはソウルの HUPO 年会において取りまとめられる予定。
- ・ 2006 年 12 月現在 17 名の Council Member である。
- ・ Executive Committee は現在 3 名で、任期の本年 12 月 31 日で代わることを説明があった。

2nd PRICPS / 4th AOHUPO 合同会議について、谷口会長より報告された。

- ・ 本件について、日本蛋白質科学会の若槻壮市先生より谷口会長に連絡があった。
- ・ 2nd PRICPS に AOHUPO が Co-organizer になっているが、JHUPO としての関わりについては、この後、日本蛋白質科学会の阿久津先生、有坂先生含め対応を協議する予定。
- ・ ひとつの提案として、PRICPS に直接協賛するのではなく、日本人の若手を対象に旅費・滞在費として 50 万円程度負担したらどうかとの提案があった。
- ・ 磯辺理事より AOHUPO に対してこれまで開催費用を提供して来た経緯はないため、日本人参加者に対する補助として支出するのが望ましいとの発言があった。
- ・ 若手 JHUPO 会員または JHUPO 理事の推薦による若手参加者に対して 50 万円の補助を行なうことが承認された。

報告 5: JHUPO 今年度大会、来年度大会について報告

磯辺理事より、今年度大会について報告された。

- ・ 開催準備については平野先生から助言いただき、運営委員会を組織し準備を進めてきた。プログラム委員 12 名によりプログラムを検討し、各分野で先端的な研究をされている先生方にシンポジストをお願いした。
- ・ 特別講演 3 名ほか、シンポジウム 55 演題、一般演題 (ポスター) 106 演題の発表。
- ・ 参加者は事前登録 250 名、初日午前中の段階での当日登録 180 名の有料参加者 430 名のほか、座長・シンポジスト招待者 60 名の約 500 名の参加に加え、展示企業 40 社の関係者を合わせ約 600 名となっている。
- ・ 反省としては、企画セッションが多くなったが、もっとフリーな枠を設定し一般から募集するものを入れた方がよかった。

高尾理事より、来年度大会について報告された。

- ・ 2008 年度大会は 7 月 29 日 (火)・30 日 (水) にホテル阪急エキスポパーク (大阪府吹田市) にて開催予定である。
- ・ 特別講演として、国立循環器病センターの寒川先生をお願いした。海外からも「New Strategies for Biomarker Discovery and Use」の内容で一人お願いする予定。
- ・ 会場は 1 フロアで、オーラル 2 会場、展示・ポスター会場を確保できる。
- ・ 参加者は 250 名程度で予算立てしているが、今回の状況を見るともう少し多くしてもいいかも知れない。
- ・ 準備運営は株式会社コンベンションリンケージに委託した。

報告6:年会費徴収・会員継続状況に関する報告

事務局より、平成19年度年会員状況について説明があった。

- ・ 7月27日現在で、個人会員104名(うち平成19年度新規会員10名)のうち、会費納入済み会員が57名、未納が47名。法人会員は8社(うち平成19年度新規会員1社)のうち、納入済みが6社、未納が2社である。
- ・ 年間予算のうち、35万円を個人会費として予算立てしており、未納者からも徴収を進める必要がある。
- ・ 法人会員からは例年すべて納入を受けているため、80万円の収入が見込まれる。

議決事項

議題1:2009年度大会会長・開催地の決定

- ・ 中村副会長より、これまで関東での開催が多かったが、来年度第6回大会は大阪開催となり、2009年第7回大会は再び関東で開催することがいいのではないかと提案があった。
- ・ 谷口会長から、理事の北里大学 前田忠計教授が第7回大会大会長として推薦され、承認された。

議題2:会長交代

- ・ 会則により、谷口会長が任期3年および65歳を超えることから、中村現副会長が新会長となることが承認された。会則により谷口会長はHGPIのchairを務めることから理事として継続してJHUPO理事会に参加することとなった。
- ・ 会長の交代に伴い、事務局が中村会長のもとへ移管され、現事務局から順次業務を引き継ぎながら事務局業務を開始していくこととなった。

議題3:副会長の交代

- ・ 中村会長より副会長として平野理事が推薦された。
- ・ 平野理事はHUPO理事となっていないこと、他にHUPO Initiativeに参加されている理事がいることなどを理由に一旦は就任を辞退されたが、中村会長が改めて推薦され、平野理事は受諾された。

議題4:平成19年度予算について

中村会長より、平成19年度予算について説明された。

- ・ 収入として、平成18年度繰り越し約453万円ほか、個人会費35万円、法人会費80万円を見込み、計約568万円の収入。
- ・ 支出として、理事会開催費70万円、業務委託費34万円、第6回大会準備金50万円などが計上され、平成20年度への繰越金は413万円の予定である。
- ・ 以上の予算案について承認された。

議題5 . JHUPO 理事の改選と推薦委員会の設置について

- ・ 戸田理事から、会則では理事の任期は3年となっているが、これまで改選されてこなかったこともあり、そろそろ理事の改選、そのための推薦委員会の設置を行ってはどうかとの提案があり、推薦委員会の候補者6名の提案があった。
- ・ 谷口理事から、次期理事候補が推薦委員に入ると、自薦することとなり公平性を欠くこととなる。よって推薦委員会は定年などにより理事候補にならない人、あるいは役職により既に理事に決まっている人が相応しいとの提案があった。例えば、HUPO Initiative の Chair2 名、会長・副会長2名、来年定年となる先生方などが良いのではないかと案が提案された。
- ・ 審議の結果、中村会長、中西理事、平野理事、前田理事、山本理事、吉里理事を推薦委員とし、平野理事を委員長とすることが承認された。
- ・ 推薦委員会については、会則の付則に記載することとなった。

議題6 . JHUPO Web の運営について

事務局より以下のとおり報告があった。

- ・ 現在の JHUPO の Web サイトについては、これまで NEC の上條先生がボランティアで管理を行ってくださったが、上條先生の異動にともないボランティアでの維持管理が難しくなった。そのため今後は事務局で管理を行うことが必要となった。
- ・ 事務局で、学会の Web サイトなど経験のある会社に確認した結果、運営管理費年間 7.5 万円～10 万円程度。WEB サーバーの維持管理費で年間 5 万円程度、計 12～15 万円程度かかる。新規に作成するのではなく、現行のファイルを移行しそれを更新していくこととなる。
- ・ 予算として 15 万円計上し移行作業を進めていくことが承認された。

議題7 . その他

- ・ 高尾理事より事務局からの大会準備金 50 万円は開催後に返金することとしていいか質問があった。谷口会長、中村新会長より、「50 万円は余ったら返していただくが、足らなければ返金は不要である」こと説明。
- ・ 谷口理事より、法人の新規入会については、今後は理事に諮った上で承認を行うのが望ましい。
- ・ 平成 19 年度予算については、2nd PRICPS / 4th AOHUPO 合同会議への参加者支援として 50 万円、JHUPO-Web の移設維持管理費用として 15 万円が追加計上されることが承認されたため、改めて予算案を理事へ報告することとなった。

最後に、中村新会長より、本年末に再度理事会を行う予定であり、今後は事務局業務の移行を進めていくこと説明があり、閉会。

以上